

令和3年度 決算説明資料

令和4年10月5日
観光文化交流局

1	観光文化交流局の主な不用額	1
2	バスを利用した観光客の周遊性向上策検討調査	2
3	地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業	6
4	市内の地域日本語教室数	7
5	名古屋城の管理運営に係る収入、支出の推移	8
6	実施設計	9
7	木材の製材	10
8	石垣調査等	10
9	天守閣整備に係る工事着手までの流れ	11

1 観光文化交流局の主な不用額

区 分	支出済額	不 用 額	執 行 率
	円	円	%
名古屋まつりの開催	12, 575, 745	107, 424, 255	10. 5
M I C E開催支援事業	8, 365, 000	17, 652, 000	32. 2
トリノ市姉妹都市提携15周年記念事業	300, 000	7, 091, 000	4. 1
名古屋城季節行事等催物の実施	28, 716, 182	6, 921, 818	80. 6
シドニー市姉妹都市提携40周年記念事業	958, 320	6, 074, 680	13. 6

注1 主に新型コロナウイルス感染症の拡大が原因で不用額が発生した上位5事項

2 執行率は、小数第2位を四捨五入

2 バスを利用した観光客の周遊性向上策検討調査

(1) 趣旨

市内の魅力的な観光スポットへの更なる誘客を図るため、周遊型バスについて新たなルートの実現に向けた調査・検討を実施

(2) 内容

- ・利用者ニーズの調査
- ・ルート案の検討・評価
- ・事業者ヒアリング
- ・既存の交通機関との連携やすみわけの検討 等

(3) 検討の方向性

- ・ 人気のある観光施設については、市内の様々なエリアに位置しており、また、バスを利用した観光施設への移動については一定のニーズがあると推測される
- ・ 課題としては、一定数以上の観光施設間を、バス路線で周遊する場合、路線距離および乗車時間が長くなり、利用者ニーズと乖離すると考えられる。また、バスの運行距離・時間が長くなればなるほど、多くの車両、運転手が必要となり、非効率的な運行ルートとなる
- ・ 上記の点を踏まえ、人気のある観光施設間には、既に鉄道やバス路線が整備されており、一定の利用者数があることから、これらの既存の交通機関との連携を図りながら、観光客の周遊性の向上を進めていく
- ・ また、新たなバスルートの創設については、既存の交通機関と連携を行う場合に比べて、より多くの財源負担が発生することを考慮し、観光客の観光施設の巡回状況や新たな交通機関の運行に向けた検討状況等を踏まえながら、利用者ニーズを確保できるルートについて、引き続き検討を進めていく

(4) ルート案の検討・評価

区分	ルート案	走行距離 km	運行時間 分	車両数 台	運転手数 人
A	名古屋駅→伏見→大須観音→金山→熱田神宮→金山→大須観音→伏見→名古屋駅	13.6	74	5	5
B	名古屋駅→名古屋城→栄→上前津→大須観音→伏見→名古屋城→ノリタケの森→トヨタ産業技術記念館→名古屋駅	14.7	80	5	5
C	名古屋駅→みなとアクルス→名古屋港水族館→白鳥庭園→熱田神宮→金山→大須観音→広小路伏見→名古屋駅	23.1	126	7	7
D	栄→広小路伏見→大須観音→金山→国際会議場→白鳥庭園→七里の渡し→熱田神宮→金山→東別院→上前津→栄	14.6	80	5	5
E	金山→熱田神宮→七里の渡し→名古屋港水族館→白鳥庭園→国際会議場→金山	15.9	87	5	5
F	金山→熱田神宮→有松→桶狭間古戦場公園→七里の渡し→白鳥庭園→国際会議場→金山（呼続IC～有松ICは高速道路を利用）	38.7 (高速 19.8)	127	7	7
G	名古屋城→四間道→名古屋駅→ささしまライブ→中村公園→名古屋駅→四間道→名古屋城	15.7	86	5	5
H	名古屋城→栄→上前津→金山→熱田神宮→七里の渡し→白鳥庭園→国際会議場→金山→大須観音→科学館→納屋橋→名古屋城	19.8	108	6	6

注1 運行時間＝走行距離÷時速11km（バス運行速度）、高速道路区間は時速60kmとした

- 2 車両数・運転手数は、30分間隔での運行を想定した際の数で、予備車両1両を含む。なおルートは、一方向周遊ルートとし、双方向で運行する場合は、車両及び運転手が倍の数必要となる

評価内容 (利点：○、課題：●、参考：※)
○名古屋駅発着で観光客の利便性が高い ○市中心部の人気観光エリアを効率的に周遊している ●一部のルートは既存の市バス路線と重複している (C-758：名古屋駅・伏見・大須観音、名駅18号系統：名古屋駅・大須観音・熱田神宮)
○名古屋駅発着で観光客の利便性が高い ○市中心部の人気観光エリアを効率的に周遊している ●一部のルートは既存の市バス路線と重複している (メーグル：名古屋駅・トヨタ産業技術記念館・ノリタケの森・栄、C-758：名古屋駅・栄・大須観音・上前津)
○名古屋駅～名古屋港を乗り換えなしで結んでいる ●走行距離、運行時間が長い ●名古屋港水族館の訪問者は、他の観光施設をあまり訪問しない傾向があり、利用者ニーズが課題
○ルート上に人気観光エリアが多い ●一部のルートは既存の市バス路線と重複している (C-758：栄・広小路伏見・大須観音・上前津、栄21号系統：栄・上前津・東別院・金山・熱田神宮) ※栄～熱田神宮 (伝馬町) 間は、地下鉄名城線が運行している
○市の南エリアの人気観光エリアを効率的に周遊している ●名古屋港水族館の訪問者は、他の観光施設をあまり訪問しない傾向があり、利用者ニーズが課題 ※金山～名古屋港間は、地下鉄名港線が運行している
●走行距離、運行時間が長い ※金山～有松間は名鉄が運行している
○名古屋城～名古屋駅を最短距離で結んでいる ●一部のルートは既存の市バス路線と重複している (名駅24号、25号系統：中村公園)
○多くの観光客が訪問している人気観光エリアを効率的に周遊している ●走行距離、運行時間が長い ※名古屋城 (市役所) ～熱田神宮 (伝馬町) 間は、地下鉄名城線が運行している

3 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業

区 分	主な内容	実 績
地域日本語教育に係る総合調整会議の開催	地域日本語教育を推進するにあたり、学識経験者等の意見を聴取	3回
総括コーディネーター（1人）及び地域日本語教育コーディネーター（3人）の配置	各取り組み内容等へ助言を行うとともに、教室の課題に応じた個別相談支援を行うコーディネーターを配置	コーディネーター会議の開催（21回）
ワークショップの開催	地域日本語教育の普及啓発に関するワークショップを開催	2回 参加者数48人
市内日本語教室検索サイト「なごにほ」の開設	日本語学習者や日本語ボランティア活動希望者への情報の提供 （日本語含め9言語で提供）	掲載数34教室
人材育成研修の開催	日本語ボランティアのためのステップアップ研修の開催	2回 参加者数63人
インターンシップ生の派遣	名古屋市立大学の学生を地域日本語教室へ派遣	5教室 派遣人数23人
オンライン地域日本語教室の実施	市内在住、在勤、在学の外国人へ日本語学習機会を提供	全12コース（入門から初級レベル） 受講者数131人

4 市内の地域日本語教室数

区 分	教室数	外国人住民数
千種区	5	5,844人
東 区	1	3,380人
北 区	2	5,736人
西 区	2	3,722人
中村区	4	5,306人
中 区	14	8,296人
昭和区	—	3,828人
瑞穂区	—	2,050人
熱田区	1	2,100人
中川区	1	7,036人
港 区	7	9,069人
南 区	2	6,119人
守山区	—	4,278人
緑 区	5	5,391人
名東区	—	3,554人
天白区	1	3,361人
その他	1	—
計	46	79,070人

注1 外国人住民数は、令和3年12月末現在

2 その他は、本市主催のオンライン地域日本語教室

5 名古屋城の管理運営に係る収入、支出の推移

(1) 収入

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和3年度
使 用 料	235,212	293,719
名古屋城観覧料	217,014	273,790
その他使用料	18,198	19,929
諸 収 入	9,724	10,542
計	244,936	304,261

(2) 支出

(単位：千円)

区 分	令和2年度	令和3年度
運営管理	606,179	563,972
天守閣閉館中の魅力向上事業	57,600	41,133
季節行事等催物の実施	26,192	28,716
計	689,971	633,821

6 実施設計

(1) 予算現額及び支出済額

(単位：千円)

区 分	金 額	うち令和2年度からの繰越明許費
予算現額	182,000	61,000
支出済額	53,000	50,000

(2) 内訳

ア 当初予算

(単位：千円)

区分	支出済額		不用額	
	事項	金額	事項	金額
設計 業務	・設計図作成 ・現状変更許可 申請書類作成	936	・設計図作成 ・構造解析 ・現状変更許可 申請書類作成	88,064
調査 業務	・史実調査 ・地盤調査	2,064	・史実調査	29,936

イ 繰越明許費

(単位：千円)

区分	支出済額		不用額	
	事項	金額	事項	金額
調査 業務	・地盤調査	50,000	・地盤調査	11,000

7 木材の製材

(単位：千円)

区 分		金 額
木材の手配・製材	保管費	90,000
	運搬費	34,000
計		124,000

8 石垣調査等

(単位：千円)

区 分	金 額
内堀御深井丸側等の石垣及び地盤の安定性調査	45,497
石垣モニタリング	5,415
穴蔵石垣の試掘	17,772
計	68,684

9 天守閣整備に係る工事着手までの流れ



注 令和4年3月末現在の検討状況

